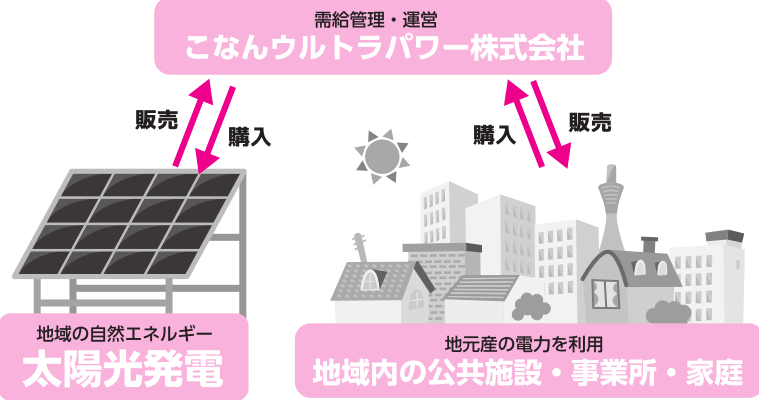


自然エネルギーで地域を元気に!

地元の電力を地域内で利用することで、資金が循環します



こなんウルトラパワー株式会社は、一般の家庭や商店・事務所などに低圧電気の販売を開始しました。月の使用量が350kWh以上の家庭や500kWh以上使う店舗や事業所にはお得なプランです。

こなんウルトラパワー
お申し込みはWEBで
<https://konan-ultra.de-power.co.jp>

電話での問い合わせは
☎0120・326・230
午前9時～午後7時(日曜・祝日を除く)

コナン市民共同発電所 1月の発電結果

初号機 発電量: **1,482**kWh
バンバン発電所 設備容量 20.8kW 売電額: **65,208**円

一般家庭 約4軒分

貳号機 発電量: **5,730**kWh
甲陸発電所 設備容量 105.6kW 売電額: **252,120**円

一般家庭 約19軒分

参号機 発電量: **951**kWh
十二坊温泉 ゆらら発電所 設備容量 16.3kW 売電額: **33,475**円

一般家庭 約3軒分

四号機 発電量: **1,433**kWh
相子袋まちづくりセンター発電所 設備容量 23.6kW 売電額: **50,441**円

一般家庭 約4軒分

※1軒あたり月間電力使用量=300kWhで換算

谷畑市長の まちづくり 最前線レポート No.159

2月28日の首相要請に基づき、湖南市においても3月2日から市内小中学校の臨時休校措置を行いました。

しかし、単に児童を家庭に戻すと、医療関係者やひとり親、共働きなどで困る家庭が生じるため、湖南市独自の対応として、必要な児童の学校預かりを実施し、給食も提供したところでした。

政府専門家会議の意見を参考に、3月23日の湖南市総合教育会議において、4月8日以降の始業式と授業開始を決定しましたが、学校現場においても感染防止に努めてまいりました。

今後も医療体制を崩壊させる爆発的感染の恐れがあることから、市民の皆さまには、密閉空間に多くの人が密集し、会話などの密接な関係が生じる場所をできるだけ避けるなど、感染防止への協力をお願いいたします。

さて、新型コロナウイルス感染者

の県内発生に対応して市議会3月定例会も日程を変更し、3月11日に令和2年度当初予算を可決いただきました。

令和元年度補正予算も含めた主要事業としては、いよいよ石部駅バリアフリー化事業が動き出します。で、用地費など4億7千万円を計上しました。また、甲西中央橋修繕に3億8千万円を見積もっています。

子育て世代の応援を強化するため、市立保育園等の一部を民間に移管したうえで、中学校区ごとに子ども家庭総合センターを開設し、より身近なところで妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を行います。

また、子どもの通院治療費の自己負担額が年5万円以上の家庭への公費負担を始めますし、新生児聴覚検査や妊婦健診費用の助成も拡大していきます。

さらに、子どもたちの学ぶ環境を改善するため、学校トイレの洋式化やネット環境を整備し、1人1台端末を配備します。

高齢世代を含めた移動手段確保に向けたバスのデマンド化や料金の見直しも検討することとし、市民の安心を確保するため庁舎整備の基金も1億2千万円積み立てました。

新しい副市長以下の体制で、議会にお認めいただいた予算を適切に執行してまいります。